



みらいへつなごう ～ちようふのかんきよう～

2020 年度版

2021 年 3 月発行
刊行物登録番号
2020 - 266

- 発行：調布市環境部環境政策課
- 連絡先：電話 042-481-7086 (直通) FAX 042-481-7550
メールアドレス：kankyuu@w2.city.chofu.tokyo.jp
※市のホームページでも環境情報を提供しています。



この情報誌は、小・中学生のみなさんに、調布市の環境について、よりよく知っていただくことを目的に作成しています。

ちようふしたまがわしぜんじようほうかん 調布市多摩川自然情報館のご紹介

調布市多摩川自然情報館に遊びに来ませんか

ちようふしたまがわしぜんじようほうかん 調布市多摩川自然情報館は、多摩川を中心とした市内の自然環境を紹介する、子どもから大人まで楽しく学べる環境学習施設です。館内には多摩川の魚や植物、昆虫などの実物が見られる展示室や、多摩川のミニ生態系を再現したいきものプール、自然環境に関する本をそろえた学習室があります。土日祝日は解説員がいます。

みなさんのご来館をお待ちしています。



入館無料です！



てんじしつ 展示室

※マスクの着用や手指の消毒など、感染防止対策に引き続きご協力をお願いします。

おさかなコーナー



こんちゆうコーナー



ひようほん 標本などの展示コーナー



多摩川自然情報館



いきものプール



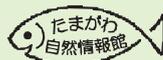
※解説員と一緒に観察できます。

学習室



※土日祝日は一般開放しています。

ちようふしたまがわしぜんじようほうかん 調布市多摩川自然情報館



調布市染地 3 - 8 - 26

開館時間：午前 9 時 ~ 午後 5 時 (土・日、祝日も開館しています。)

[お問い合わせ]

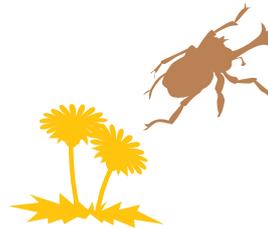
- ・当館運営受託事業者 (株)セルコ 03 - 3406 - 1724
(平日：午前 10 時 ~ 午後 5 時 30 分)
- ・当館携帯電話 080 - 2087 - 9009
(土・日、祝日 (年末年始を除く)：午前 9 時 ~ 午後 5 時)
- ・調布市環境部環境政策課 042 - 481 - 7086
(平日：午前 8 時 30 分 ~ 午後 5 時 15 分)

公共交通機関、自転車をご利用ください。
(駐輪場があります。)

●交通アクセス

調布駅南口バス乗り場

- ④「多摩川住宅西」行き (調 45・46 系統) に乗車
「桜堤通り」下車徒歩約 2 分 (約 0.1km)



【MAP】



海洋プラスチックごみの影響

私たちの生活で使われるプラスチックが、プラスチックごみとなって海洋環境を汚染し、海の様々な生きものに影響を与えています。

マイクロプラスチックとは？

プラスチックの破片のうち、5mm以下のものはマイクロプラスチックと呼ばれています。

現在、世界の海に5兆個ものマイクロプラスチックが海の中を漂っているといわれています。



多摩川自然情報館近くの多摩川でも、マイクロプラスチックが見つかりました。

マイクロプラスチックはどうやってできるの？

マイクロプラスチックには、プラスチックごみが風、水、石で砕けたり、紫外線などで劣化したりして小さな破片になったものや、スクラブ、マイクロビーズをはじめとする、もともと5mm以下の製品プラスチックがあります。



プラスチックが生き物の身体に取り込まれると・・・

プラスチックごみを魚などの海の生き物が餌と間違えて食べてしまうことがあります。そうすると、胃の中にごみがたまり続けて、きちんと餌を食べることができなくなり、死んでしまうことがあります。マイクロプラスチックなどの小さなプラスチック片には有害物質が付着することがあります。また、プラスチックを作るときに混ぜる「添加剤」の中には、生き物に有害な物質が含まれているため、私たちを含めた生き物に取り込むことで、身体に悪い影響を与えることが懸念されています。



地球温暖化について

地球温暖化を抑えるため、できることから取り組んでいきましょう

いま、地球温暖化の進行により、自然災害が全世界で起きていて、「気候危機」に向かっています。

令和元年10月には、調布市でも、これまで経験したことのない、大型の台風(19号)により、グラウンドが使えなくなるなど、被害を受けました。

地球温暖化の原因となる、CO₂※に代表される温室効果ガスは大気中に長くとどまるので、過去に出した温室効果ガスがどんどんたまっていきます。そして、温室効果ガスの濃度が高くなるにつれて、地球の平均気温が上がり、人間や生態系への影響が大きくなっていきます。

今後、産業革命(18世紀後半)以降の世界の気温上昇を何℃以内に抑えるかで影響が大きく変わり、温暖化によるリスクを抑えるためには、気温上昇を1.5℃以内に抑えていく必要があります。

温室効果ガスの排出量を大きく減らしていくために、世界の国々で「パリ協定」という約束ごとを決めました。世界各国で温室効果ガスの排出を減らすために取り組んでいますが、気温

上昇を1.5℃以内に抑えていくためには、もっと多くの分野で急速な変革が必要です。

私たちも未来のために、できることから取り組んでいきましょう。

※CO₂…二酸化炭素のこと



できること、いろいろあるね

出典：「おしえて！地球温暖化」環境省（2019年3月作成）

多摩川の四季

今回は多摩川の四季というテーマに沿って、それぞれの季節で特に観察したい野鳥を紹介し^{かんざつ}ます。

春はツグミ。陽射しがあたたくなり、地面にいた彼らがよく樹に止まるようになればそろそろ別れの合図。また次の秋冬に出会えるように願いを込めて、シベリアに旅立つ姿を見送ります。



写真 多摩川自然情報館 (ツグミ)

夏はコアジサシ。水面からの高さ5～15mの位置から垂直にダイビングして魚を探ります。日本に来て繁殖する夏鳥^{はんとしよく}ですが、繁殖場所である砂礫地^{されき}の減少により、数が減っている鳥の1つです。



写真提供 静谷忠幹氏 (コアジサシ)

春

夏

秋

冬

写真提供 水元伸二氏 (ジョウビタキ)



秋はジョウビタキ。ちょっと目立つ樹のてっぺんでヒツヒツと可愛く鳴く様子を眺めます。最近^{おす}は雄にジョビ男、雌にジョビ子という愛称も生まれるほどの愛され鳥。

写真提供 水元伸二氏 (カワラヒワ)



冬はカワラヒワ。葉を落とした樹の上に集団でとまります。一年中みられるカワラヒワですが、夏にみているのは亜種カワラヒワ、冬にみるのは亜種オオカワラヒワと、実は別の集団に入れ替わっています。

調布市内の養蜂場を訪ねて

甘くて美味しいハチミツをせっせと作るミツバチたち。春になるとお引越しをするんです。

ミツバチは新しい女王バチが生まれると、働きバチの約半数がもともといた女王バチを引き連れて、新たな巣となる場所を探します。これがミツバチのお引越しで『分封(ぶんぽう)』といえます。

新たな巣を作るために、ミツバチ達は数万匹に及ぶ大群で移動します。自然界では大きな木のうろ等に定着し、巣を作ることが多いようですが、住宅街では良い場所が中々見つかりません。そのため、一時待機場所として街路樹、民家の樹



「分封」の様子：深大寺養蜂園提供

木などに2～3日留まり、休憩することがあります。大群で移動し、良い場所が無ければ休憩することを繰り返します。数万匹の群れが密集しているため、見つけた方は大変驚かれますが、ミツバチはお腹にたっぷり蜜を蓄えた状態ですので、この時、非常に温厚なのです。

春先から夏にかけて、こうしたミツバチの分封の目撃情報が寄せられます。

分封を見つけた場合は、殺虫剤などは使用せずに2～3日見守ってください。数時間～数日で別の場所に移動するため、自然にいなくなります。逆に殺虫剤などを使用して刺激してしまうと、数万匹のミツバチがパニックを起こして散らばり、時には興奮して襲ってきます。

「分封」はミツバチの神秘的な自然現象ですので、見られたらラッキーです。慌てず、騒がず、刺激しないように遠くから、ミツバチのお引越しを見守りましょう。



花にとまるミツバチの様子：深大寺養蜂園提供

コラム クールチョイス COOL CHOICE

温室効果ガスの排出を削減していくため、環境省では、脱炭素社会づくりに貢献する製品への買換え、サービスの利用、ライフスタイルの選択など、地球温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」を促す国民運動「COOL CHOICE」を推進しています。

地球温暖化対策について、動画や漫画で分かりやすく紹介するコンテンツもありますので、「COOL CHOICE」ホームページをご覧ください。



未来のために、いま選ぼう。